

N U K U M O R I

ぬくもり

No.37
2014.11.4.発行



平成26年度 広域医療搬送訓練に参加

基本理念

地域医療への貢献
「肌のぬくもりある医療」の実践

基本方針

- 一、救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一、高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一、患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一、職員が働きやすく、誇りを持てる病院を目指します。

肌のぬくもりある医療



宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307
<http://www.utihp.jp/>



CONTENTS

平成26年度 広域医療搬送訓練に参加して・・・	2
ドクターのお話	4
リレーフォーライフ	6
供養盆踊り	6
宇佐高田NST研究会	7
地域ケア会議で講演	7
行事のお知らせ	7
外来担当医師一覧表	8

平成26年度 広域医療搬送訓練に参加して



宇佐高田DMAT出動

陣林医師、植田看護師、青木看護師、吉田調整員が、大分空港SCUでの医療活動や実際にヘリに搭乗しての広域搬送訓練を経験しました。



8月30日(土) 南海トラフ地震を想定して総合防災訓練が行われました。震度9クラスの地震と津波で、大分県、宮崎県及び鹿児島県の広範囲が大きな被害を受け、被災していない県内外に被災者を陸路や空路で広域搬送するという国内で最も大規模な設定の訓練に参加しました。県内の被災者に、大分空港と大分スポーツ公園に設けた広域搬送拠点医療施設(SC

U)で診療と応急処置を施し、県内の各医療施設へ搬送します。県によると、南海トラフ地震が発生した際、県内で最悪2万人の死者が出る想定されており、災害直後の早めの避難行動の他、72時間以内の救助活動が重要になります。今回は、他県、各関係機関も参加し、機能的かつ効率的に運用できるよう、訓練を通じて手順や体制を確認する良い機会になりました。



大分空港にて、他機関と合同でSCU広域搬送訓練

大分県では12の病院が災害拠点病院として指定されています。中でも大分県立病院は、基幹災害医療センターとして、大分県における災害医療の中心的な役割を担い、各二次医療圏には、1施設以上の災害拠点病院が配置されています。当院は北部二次医療圏で、宇佐高田地域災害医療の中心的な役割を担っています。訓練ではありますが、今回のような大規模な災害は、いつどこで起きてもおかしくありません。

院内の訓練は、日本DMAT事務局より派遣されたコントローラー（指導員）の指導の下、訓練の想定に合わせたシナリオを作成し、災害時対応マニュアルに準じた訓練を行いました。

松成医師を災害対策本部の本部長とし、災害本部を事務室に立ち上げ、院内の被害状況の確認、ライフラインの確認、負傷者の確認、職員召集や非常放送等の訓練をマニュアルに沿って行いました。被災者受け入れ態勢を整え、患者搬送やトリアージ実施、多数負傷者の対応困難を判断、応援DMAT要請など実働訓練と机上訓練を連動して行いました。

訓練当日、参加した職員は、災害時は何もできない、マニュアル

も改正しなければいけないと、誰もが思ったことと思います。今の状況では災害時に混乱して対応できないと、事実を目の当たりにした日でした。今後も定期的なマニュアルの見直しや訓練を行い、災害時の対応ができるよう取り組んでいきたいと思っています。

救急災害対策委員会
日本DMAT隊員

看護師 小野 康佳

院内訓練風景



応援DMAT到着（北九州市立八幡病院DMAT）



赤タグ重症者の搬送（中津市民病院へ）



アクションカードとトリアージカードを配布し、災害本部の立ち上げ班と負傷者受け入れ班に分かれて、実際にカードに沿って行動しました。

アクションカードとは、具体的な行動内容が明記され、それに沿って行動し、判断できるようになっています。事前の準備がなくても十分対応出来る指示がカードに記載されています。



訓練の打ち合わせ



日本DMAT事務局より派遣された指導員・・・マスコミに変装

胃食道逆流症について



消化器内科 医師
福田 健介

図1

＜胃食道逆流症の症状＞

- ・ゲップがよく出る
- ・口の中が酸っぱくなる（または苦くなる）
- ・不快な口臭がある
- ・咳や喉の枯れ
- ・喉や胸が痛い
- ・胸焼けがする
- ・胃液があがってくる
- ・胃のあたりが気持ち悪い
- ・吐き気がする

1. 胃食道逆流症とは、文字通り「胃の内容物が食道へ逆流しておこる病気」という意味です。

さまざまな理由によって胃内容物の食道への逆流がおこるようになる。と、胃液の酸のために、胸やけや口の中まで酸っぱい水が上がる感じ、いわゆる「胃酸（どんさん）」（最近テレビCMでよく耳にします）がこります。中には狭心症とまぎらわしい胸の痛みや喉や胸のあたりでのつかえる感じなど、さまざまな症状をきたすことがあります（図1）。

ので、逆流症状もしくは食道炎のどちらかがあれば、胃食道逆流症と診断します。

2. 逆流性食道炎との違いは

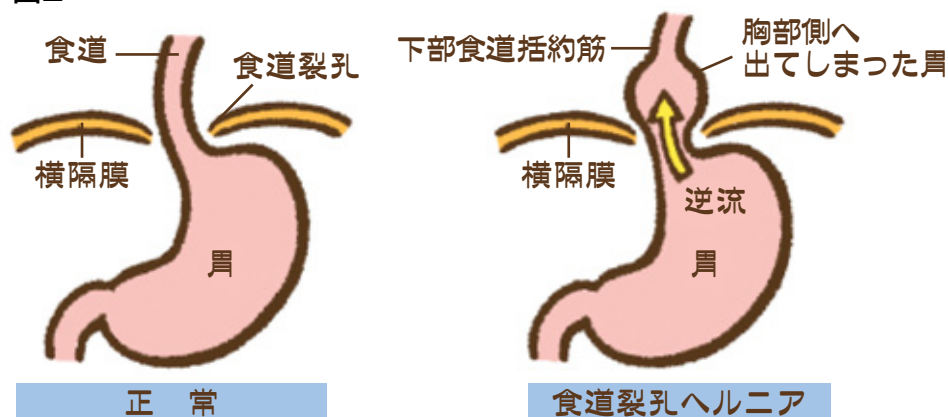
皆さんはもしかすると、「逆流性食道炎」という病名の方をより耳にされることが多いかもしれません。「逆流性食道炎」とは、胃食道逆流症のうち、内視鏡で食道炎を認める場合につく病名で、あくまで胃食道逆流症の一部とされています。胸やけがあるものの内視鏡で食道炎が確認できないものを「非びらん性胃食道逆流症」と呼び、どちらも食道に酸が逆流する病気という意味では同じですので治療法も同じです。

3. 胃食道逆流症の原因は

胃酸の食道への逆流は、男性では中年以降、女性では高齢者（特に腰の曲がった人）に多くみられます。食物を大量に食べた後や、高脂肪食や甘いものを食べた後におこりやすくなります。

また、中高年になると増えてくる食道裂孔ヘルニアも逆流の原因となります。食道裂孔ヘルニアとは、食道と胃のつなぎ目である膈門がゆるくなった状態で、肥満とも大きな関係があります（図2）。

図2

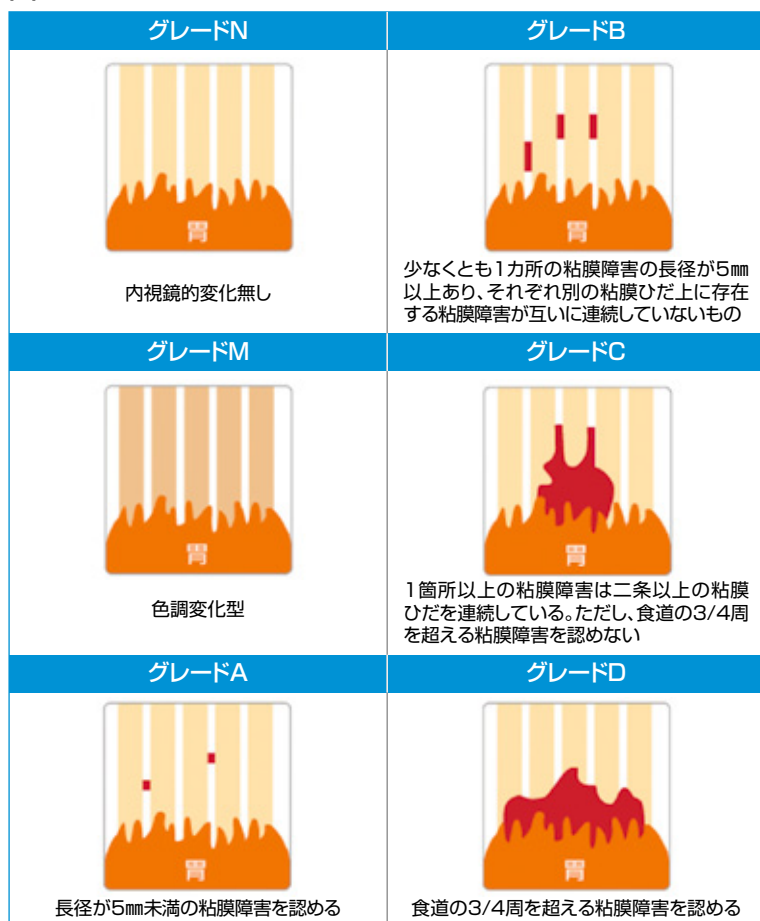


4. 胃食道逆流症の診断

① 症状による診断（問診）

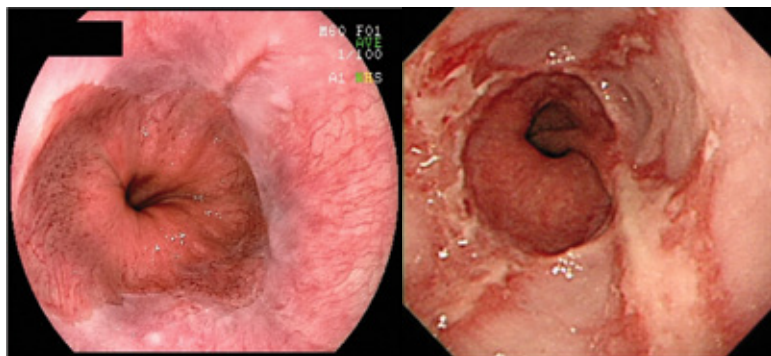
胸やけと胃酸は胃食道逆流症に特徴的な症状で、この2つの症状があれば診断します。胃の痛みやもたれのような症状、喉の症状、咳の症状など、食道が悪いためとは思えない症状をおこすことがあり注意深い問診が必要です。

図3



粘膜障害:白苔ないし発赤を有する領域

図4



グレードB(左)、グレードD(右)の内視鏡画像

②内視鏡による診断

内視鏡は診断にきわめて重要な検査です。胃食道逆流症を疑う場合には、食道炎の重症度の確認が必要です。(図3、4) また、悪性疾患やほかの疾患がないことを確認するために、症状が続く人では一度は内視鏡検査を受けることが勧められます。

③24時間pHモニタリング検査

専門的な検査ですが、食道への酸の逆流状況を連続的に観察する24時間pHモニタリング検査があります。

④PPIテスト

胃食道逆流症の代表的な治療薬である酸分泌抑制剤プロトンポンプ阻害剤(PPI)を短期間投与することにより、症状の改善があるかどうかをみる方法です。通常はPPIを2週間使用し、症状が改

す。先端に小さなpH装置の付いた細い管を鼻孔から食道内に入れて、24時間にわたって食道内のpHを測定します。これは専門的な施設で行われておりません(当院では行っておりません)。

5. 胃食道逆流症の治療

①酸分泌抑制薬

文字通り胃酸の分泌を抑える薬で、胃食道逆流症の治療の基本となる薬です。胃酸の分泌を抑える薬には、プロトンポンプ阻害剤(PPI)とH₂受容体拮抗薬とがありますが、PPIの方が効果的です。ただし、十分に効果を発揮するまでに数日かかることがあります。

善したかどうかの反応をみます。

②その他の薬

消化管蠕動賦活薬に分類される薬には、噴門の逆流を防ぐ力と食道蠕動運動を増強する作用を持つものがあります。症状改善のために使うことがありますが、補助的な役割にとどまります。

③手術

薬物療法が効かない場合、大きな食道裂孔ヘルニアがあるものに対し、腹腔鏡を用いた手術が行われることがあります。

6. 最後に

近年、食生活の変化や生活習慣の変化(喫煙、飲酒、肥満など)、ストレスの増加などにより、胃食道逆流症の患者さんは増えてきていると言われています。胸やけや胃酸など、症状を感じる方は医師にご相談ください。

【参考文献】胃食道逆流症(GERD)診療ガイドライン、患者さんと家族のための胃食道逆流症(GERD)ガイドブック(日本消化器病学会…編)

リレーフォーライフ大分 2014

10月11日（土）・12日（日）、大分スポーツ公園 大芝生広場で、がん患者を支援するチャリティーイベント リレーフォーライフ大分2014が開催されました。当院からも延べ81名が参加し、2日間を無事リレーできました。

私は今回初めて参加しました。開会式後に他の参加者とハイタッチをしながらスタートし、チームのメンバーと協力しながらたすきをつなぎ、とても楽しくウォークをすることができました。

私が最も印象に残っているのは、一人ひとりの思いがたくさん詰まったルミナリエです。日々病気と闘っている患者さんやその家族の思いに対し、看護師として考えさせられることがありました。

完歩するという達成感もあり、とても有意義な時間を過ごせました。来年もぜひ参加したいと思います。

病棟看護師 矢野 杏菜



供養盆踊り

8月23日（土）検診センター前駐車場にて、供養盆踊りを開催致しました。職員も事前に地区の皆様にご指導頂き、踊りの練習をしました。

当日は19時より、徳光理事長、柏木院長から物故者・遺族の方々に追悼の意が表され、供養盆踊りが始まりました。多くの職員が浴衣姿で、練習の効果もあり、大きな二重の踊りの輪でした。今年も地区の皆様が竹灯籠を設置して下さい、大変幻想的にできたのではないかと思います。

各地区の皆様、踊りの練習や会場の準備・片付け、当日の運営等にご協力頂き、本当に有難うございました。また多くのご参加を頂き、大変良い供養を行うことができましたことを感謝申し上げます。来年以降も多数のご参加、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

事務部長 熊谷 嘉典



第11回 宇佐高田NST研究会

9月10日(水) 検診センター大研修室にて、第11回宇佐高田NST研究会を行いました。講師はイーエヌ大塚製薬株式会社 島添治樹先生で、地域の病院・施設から78名の参加がありました。

飲み込みが悪くなり、刻み食やミキサー食を食べている方に、そのものの形で食事を食べて頂けるという製品の説明・試食がありました。これは特殊な加工を施すことで、食品が舌でつぶれる程のやわらかさになるというものです。

研修後のアンケートでは、おいしかった、価格が高いが時々使用したいという意見が多く、患者さんに美味しく食べて頂きたいという願いが感じられました。

今後も研修会を行い、飲み込みや口の中の手入れ、褥瘡の勉強等をしていきたいと思っています。



地域ケア会議で講演



7月22日(火) 宇佐市社会福祉協議会 院内支所にて、「自立支援のためのアセスメントの気づきについて ～管理栄養士の視点から～」というテーマで、自立支援のためのケアプランを作成するケアマネジャーの方々にお話させて頂きました。

自立に向けて、より良いプランを作成する中で、食事をすることはあまりにも当たり前すぎて見逃されがちです。食事は内容、回数、食べる時間など、個々の生活の中では大きく違ってきます。今の食事内容はどうなのか、まずアセスメントが必要です。アセスメントに基づき、個人の生活の中で実施できる食事のプランを導くことが大切です。しっかり食事が取れることにより、さまざまなリハビリが実践でき、自立へとつながっていくと思います。まずはリハビリできる体を作ることが必要です。

今回のお話が少しでもお役に立つと幸いです。

栄養課 課長 佐藤 昌代

行事のお知らせ

糖尿病教室のお知らせ

- 日時: 11月5日(水)・6日(木) 9時～
- 場所: 1階ロビー

11月10日(月)～16日(日)の全国糖尿病週間にあわせ、当院でも管理栄養士が糖尿病の食事療法などの栄養相談を行います。糖尿病だけでなく、食事でお困りのことがありましたら、お気軽にご相談下さい。

外来担当医師一覧表

時間帯	科 別	月	火	水	木	金	土
午 前	循 環 器	陣 林	篠 原	齋 藤 陣林(ペースメーカー)	—	陣 林	—
	外 科	近 沢	柏 木	山 方	坂 井	柏 木	—
	消 化 器	松 成	中 島	福 田	中 島	松 成	—
	内 視 鏡	福 田	松 成	松 成	福 田	福 田	—
	呼 吸 器	—	望 月	※下記参照	望 月	—	—
午 後	循 環 器	—	—	—	近 藤 (心カテ検査)	—	—
	腎 臓 内 科	—	—	—	—	有馬(第1・第3)	—
	血 液 内 科	—	—	—	—	中山(第2・第4)	—

氏 名	専 門 領 域
循環器科 陣林 伯男	循環器 内科一般
近藤 克洋(非常勤)	循環器科一般
篠原 徹二(非常勤)	循環器 内科一般
齋藤聖多郎(非常勤)	循環器 内科一般
消化器科 松成 修	消化器科一般
福田 健介	消化器科一般
中島 仁典(非常勤)	消化器 肝臓病 内科一般
腎臓内科 有馬 誠(非常勤)	腎臓内科一般
血液内科 中山 俊之(非常勤)	血液内科 内科一般

氏 名	専 門 領 域
外科 柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
山方 伸茂	消化器外科 外科一般
近沢 信人	消化器外科 外科一般
坂井 寛	消化器外科 外科一般
呼吸器科 望月 淳	呼吸器内科 老年科
※井上 聡一(非常勤)	呼吸器科一般 第1水曜
※吉松 哲之(非常勤)	呼吸器科一般 第3水曜

●外来受付時間

午前8:30～11:00 (午後の特殊外来は、午後3:00まで受付)
予約の患者様が優先になります。ただし、急患はこの限りではありません。
※当病院は、原則として紹介状が必要です。

●診療時間

午前9:00～12:00 / 午後1:00～4:00 (腎臓内科)
午後2:00～5:00 (血液内科)

●休診日

土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始 (12/30 ～ 1/3)

編集後記

表紙の写真は、総合防災訓練後の集合写真です。
当院は災害拠点病院として、宇佐高田地域災害医療の中心的な役割を担っています。大規模災害はいつどこで起きてもおかしくありません。今後も定期的な訓練を行い、災害時の対応ができるよう取り組んでいきたいと思います。
広報委員

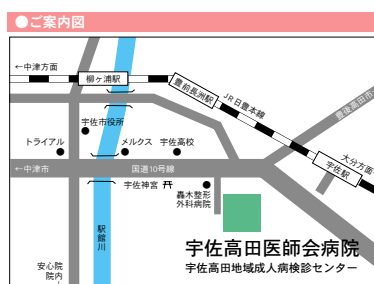
ぬくもり No.37 2014年11月4日発行

宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL 0978-37-2300(代) FAX 0978-37-2307

ホームページ <http://www.utihp.jp/>

これまでの広報誌「ぬくもり」もホームページで閲覧できます。



- 地域医療支援病院
- (財)日本医療機能評価機構認定 (Ver.5.0)
- 第2次救急指定医療機関・災害拠点病院 (大分DMAT指定病院)
- 僻地医療拠点病院・大分県HIV診療協力病院
- 第2種感染症指定医療機関 (SARS初療機関)
- 大分県重症難病患者医療ネットワーク基幹協力病院
- 協力型臨床研修病院・循環器専門医研修関連施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設
- 日本消化器病学会専門医研修関連施設
- 肝疾患診療協力医療機関
- マンモグラフィー画像認定施設
- NST稼働施設認定病院